

委員会審査報告

4つの常任委員会と一般会計予算特別委員会分科会で審査された、主な内容をお知らせします。

厚生

身近な福祉の向上を論議

補正予算10件、陳情4件を審査しました。また、2か所の健康の駅を視察しました。

◆新型インフルエンザ対策◆

中学生以下の予防接種を無料とした経緯について質疑があり、重症化率が高い子どもたちの感染防止が急がれるとの答弁でした。

◆生活保護費を増額の内容◆

昨今の厳しい経済状況で生活扶助費が増えたことや、母子加算の復活などにより、1億5千万円を増額するとの説明でした。

◆さらなる社会参加の促進を◆

大和更生園での社会参加の状況と促進について質疑があり、市や県からのスノーポール製作の受注や道の駅などでの野菜販売実習など、社会参加を進めている。今後も、業務開拓を進め、障がい者の社会参加の充実に取り組んでいくとの答弁がありました。

◆これからの病院経営◆

医療費抑制という施策が進められる中で、市外から患者の受け入れを促進すべきではないか、との質問がありました。

これに対し、横手病院では、充実した消化器科に湯沢雄勝・美郷町・岩手県西和賀町などからの通院もある。また、頭痛専門外来や、大森病院の夕暮れ診療など、全県域からの患者もあり、今後もこうした部分を強化していきたいとの答弁がありました。



(横手・稗巻牛柳)

健康の駅のみなさんとひざ痛らくらく体操

このほかの議案についても詳細な審査が行なわれ、採決の結果、全て原案のとおり可決すべきものと決定されました。

陳情の審査では、いずれも市民福祉に密接な問題であり、立身委員・齋藤委員から討論がありました。採決では、細菌性髄膜炎ワクチン接種と平成22年度の年金確保を求める陳情は採択すべきもの、ほか2件は不採択とすべきものと決定されました。

産業経済

森林組合への出資金を集中審議

議案4件・請願2件・陳情2件の審査を行ない、その後大雄堆肥センターなどを視察しました。

主な審査内容は以下の通りですが、一般会計補正予算案については採決を希望しないとの意見があり、協議の結果、採決を行わないこととしました。

このほかの議案については審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

また、請願・陳情についても、採択すべきものと決定しました。

◆森林組合への出資金増資◆

この問題については、多くの質疑がありました。

当局からは、森林組合については、市の出資率が42・6%であるが、法規定により役員等の参入はできない。組合では財務改善計画により5年以内には好転する見通しが立ったとの説明があり、出資比率に応じた出資をしたいと考えている。

また、市の姿勢が他の組合員に与える影響も大きく、出資により組合員が自ら組織の再生を図るこ